



慈林小だより



令和6年度夏休み号 令和6年7月19日

思い出いっぱいの夏休みに

校長 鈴木真由美

本日、令和6年度第1学期終業式を行いました。保護者の皆様にはPTAボランティア活動や学校応援団、毎朝の旗当番など、多方面でご支援・ご協力をいただきありがとうございました。また、地域の皆様にも子供たちの登下校時や放課後、休日の見守りにご協力いただき、心から感謝申し上げます。皆様方のご協力のおかげで、子供たちは様々な体験活動に安心して取り組むことができ、思考力や表現力を高めたり、自他の生命を尊重する態度などを身に付けたりすることができました。明日から始まる夏休みも子供たちが安全第一で過ごせるよう、ご家庭や地域での声かけ・見守りをよろしくお願いします。

さて、7月3日には20年ぶりに新紙幣が発行されました。新1万札の顔は、皆様ご存知の通り、埼玉県ゆかりの偉人・渋沢栄一です。渋沢栄一は、1867年に幕府使節団の一人としてパリ万国博覧会に参加し、約一年半に渡ってフランスに滞在しました。そこでの見聞が渋沢自身を大きく飛躍させ、帰国後の新しい国づくりに大いに活かされることとなりました。2021年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」（パリ編）でも、渋沢たちが欧州の文化や経済の仕組みなどに驚嘆する様子が印象的に描かれていましたね。

今年の夏は、第33回オリンピック競技大会（パリ大会）が開催されます。渋沢栄一は1931年に91歳で生涯を閉じましたが、この時代に生きていたら今年のパリオリンピックを通して世界をどのように見るのでしょうか。晩年まで公益や人々の幸せを心から願い、様々な事業に力を尽くして近代日本の礎を築いた渋沢栄一に「今の日本は、世界はどうですか」と聞いてみたいものです。

オリンピック観戦は、子供たちがオリンピックに関わる人々や世界に目を向けるよい契機となります。子供たちにはオリンピック観戦を通して各国代表選手の活躍、開催国フランスや首都パリの文化・風土、世界の国々にも興味・関心を広げてほしいと思います。また、子供にとって、親御さんと色々な意見や感想を交わしたり、感動を共有したりしながらテレビでオリンピック観戦をするのも、楽しい夏の思い出になることでしょう。

子供の成長は早く、家族で共に行動できる時間は意外と短いものです。明日からの夏休みが、ご家族の皆様にとって楽しく安全で思い出いっぱいのものとなるようお祈り申し上げます。

「こうゆうすいか」に気をつけよう

～安全・安心な夏休みのために～

- | | | |
|----|----------|-----------------------|
| こう | (交通事故) | *飛び出し厳禁、自転車注意、ヘルメット着用 |
| ゆう | (誘拐) | *「いか・の・お・す・し」 |
| すい | (水の事故) | *川・海・湖などでの遊びは大人と一緒に |
| か | (火事・火遊び) | *花火は大人と一緒に |

